



名称	彫金 松に富士図扇面額
よみがな	ちょうきん まつにふじずせんめんがく
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	工芸品
所在地	城町一丁目 2-1 (三原市教育委員会)
所有者	三原市
員数	1 枚
指定年月日	平成 20 年(2008)5 月 19 日
作者	清水南山
材質	銅製
法量	幅 20.0cm
時代	不明
公開状況	事前に連絡必要 (0848-64-2137)
交通案内	JR三原駅から南へ約 1km

【解説】

この作品は銅板を扇面にカットし、鑿^{たがね}で「松に富士図」が線彫されている。太い輪郭線は墨絵の付け立て画法(輪郭線を描かずに直接、筆使いと墨の濃淡だけで物の形を描く表現のこと)のように、鑿の角度や深さに変化をつけ片切彫で濃淡を出している。その他の線刻には毛彫が使われ、地面のあたりにはくさび形をした蹴彫もみられる。松の木肌には一枚一枚に細かく立体感が加えられ、作品に柔らかさを生み出している。南山の師である加納^{かのうなつお}夏雄は片切彫の名人といわれ、師匠ゆずりの確かな腕の冴と枯淡の味わいがこの作品の魅力となっている。